

土砂災害防止法に基づく 土砂災害警戒区域等の 指定について

熊本県天草広域本部 土木部

1 土砂災害とは

- ・ 土砂災害の実際、特徴

2 土砂災害防止法とは

- ・ 土砂災害防止法の必要性
- ・ 土砂災害防止法の概要

3 土砂災害防止区域の設定手法

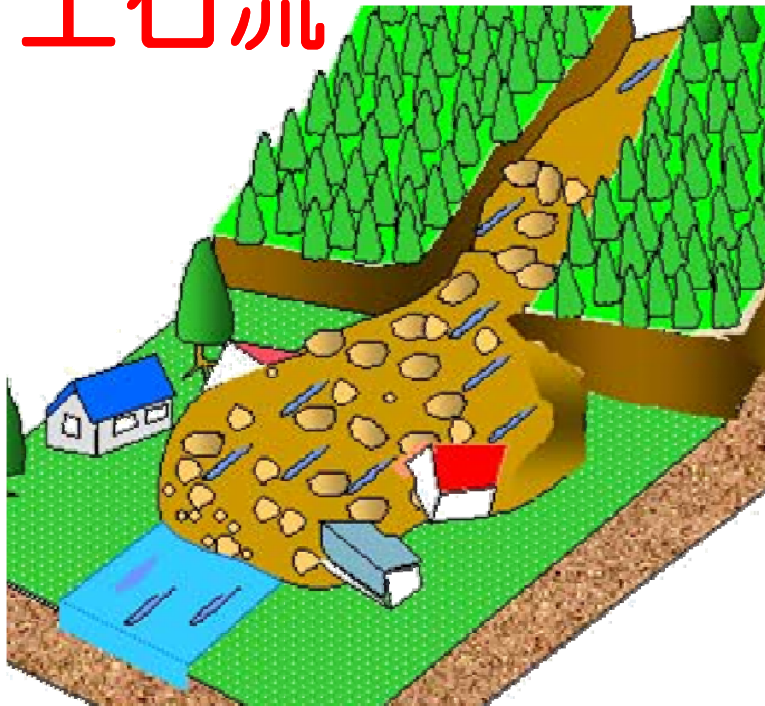
- ・ 基礎調査の流れ
- ・ 区域設定の手法
- ・ 公示図書の例

1 土砂災害とは

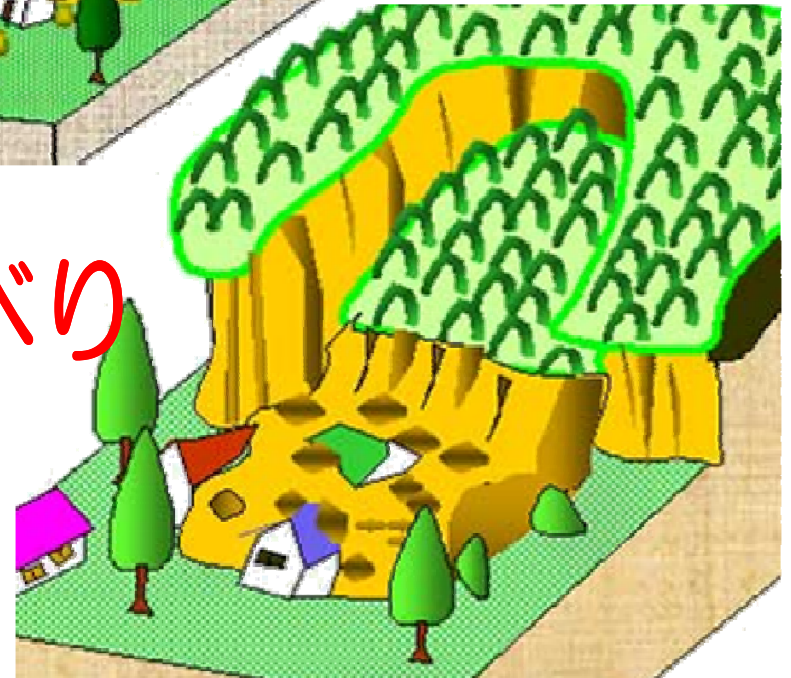
がけ崩れ



土石流



地すべり



●土砂災害の前兆

がけ崩れでは…

- がけからの水が濁ったり急に水量が増える
- がけに亀裂が入る
- 小石が落ちてくる
- がけから音がする

土石流では…

- 山鳴りがする
- 雨が続けているのに川の水位が下がる
- 川が濁ったり、流木が流れる

地すべりでは…

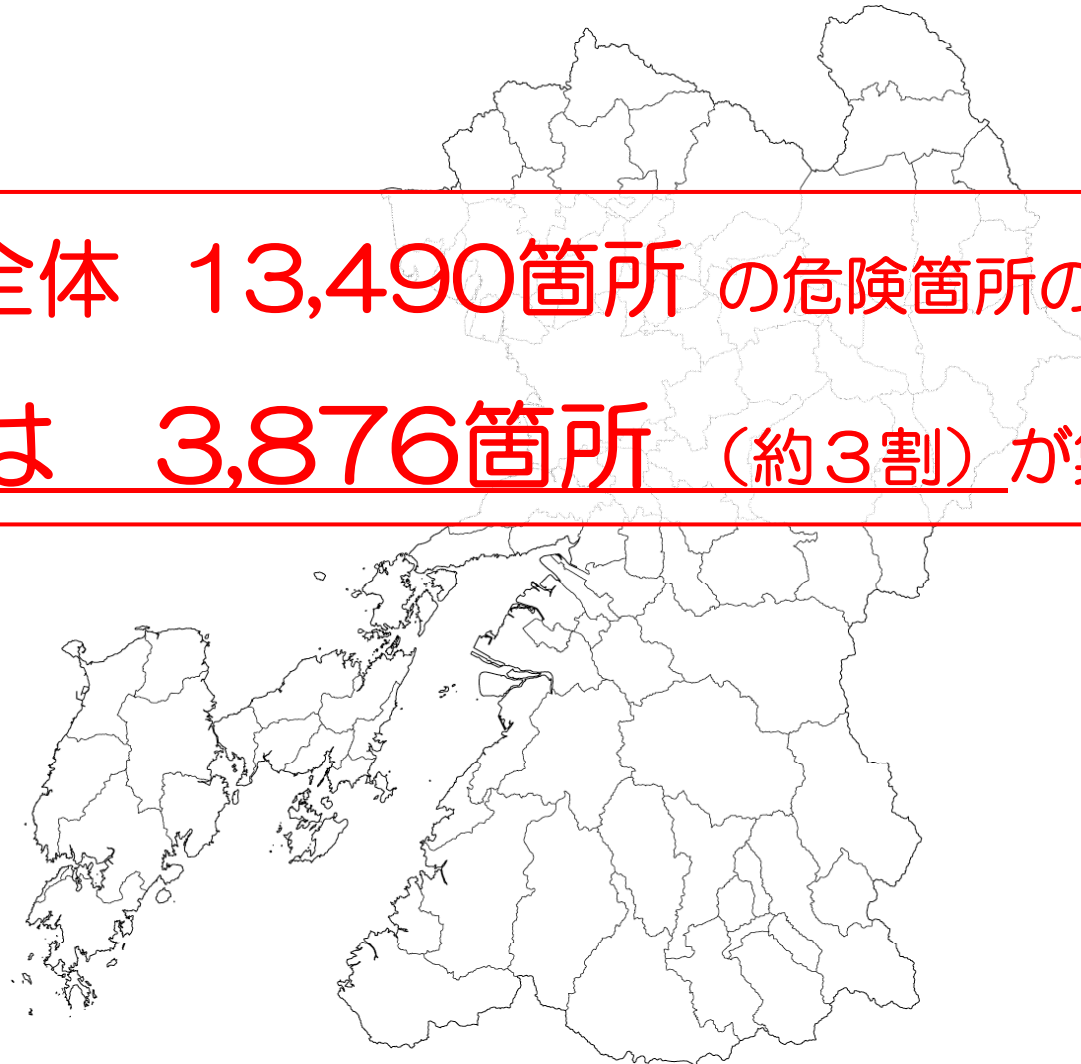
- 地面にひび割れができる
- 井戸や沢の水が濁る
- がけや斜面から水がふき出す

こんな「がけ」が
特に危険です。



●天草における土砂災害危険箇所

県全体 13,490箇所 の危険箇所のうち、
天草には 3,876箇所 (約3割) が集中！



平成18年7月豪雨

天草市河浦町で
土石流が発生！



土石流発生

天草市
河浦町

集落



●土砂災害と水害の特徴

土砂災害



水害



<災害の特徴>

- 局所的に被害が発生
- 突発的に被害が発生
- 土石流や崩壊土砂により、**家屋の破壊**を生じ、**人的被害**が発生しやすい
- どこで起こるか予想がつかない
(火山地域を除く)

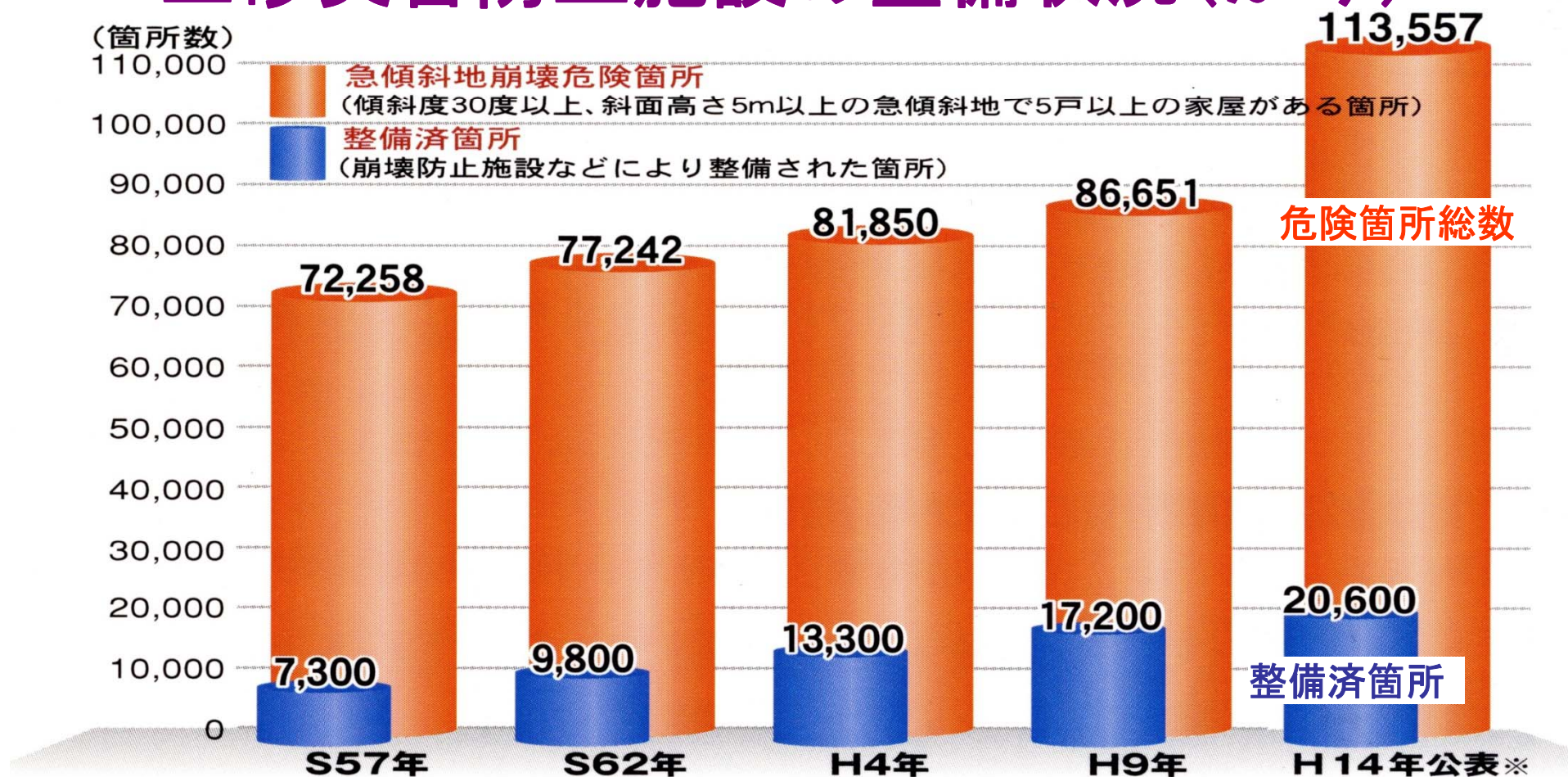
危険性を認識しにくいため、
前もって**避難する人が少ない**。

- 比較的**広域**に渡って被害が拡大
- 徐々に**浸水域、浸水深が増加
- 破堤の場合は**家屋の破壊**を生じるが、
内水氾濫の場合は**家屋の浸水**が大半
- 同じ地域で**繰り返し起こる**

危険性を認識しやすいため、比較的
避難する。

●土砂災害防止法の必要性

土砂災害防止施設の整備状況(がけ)



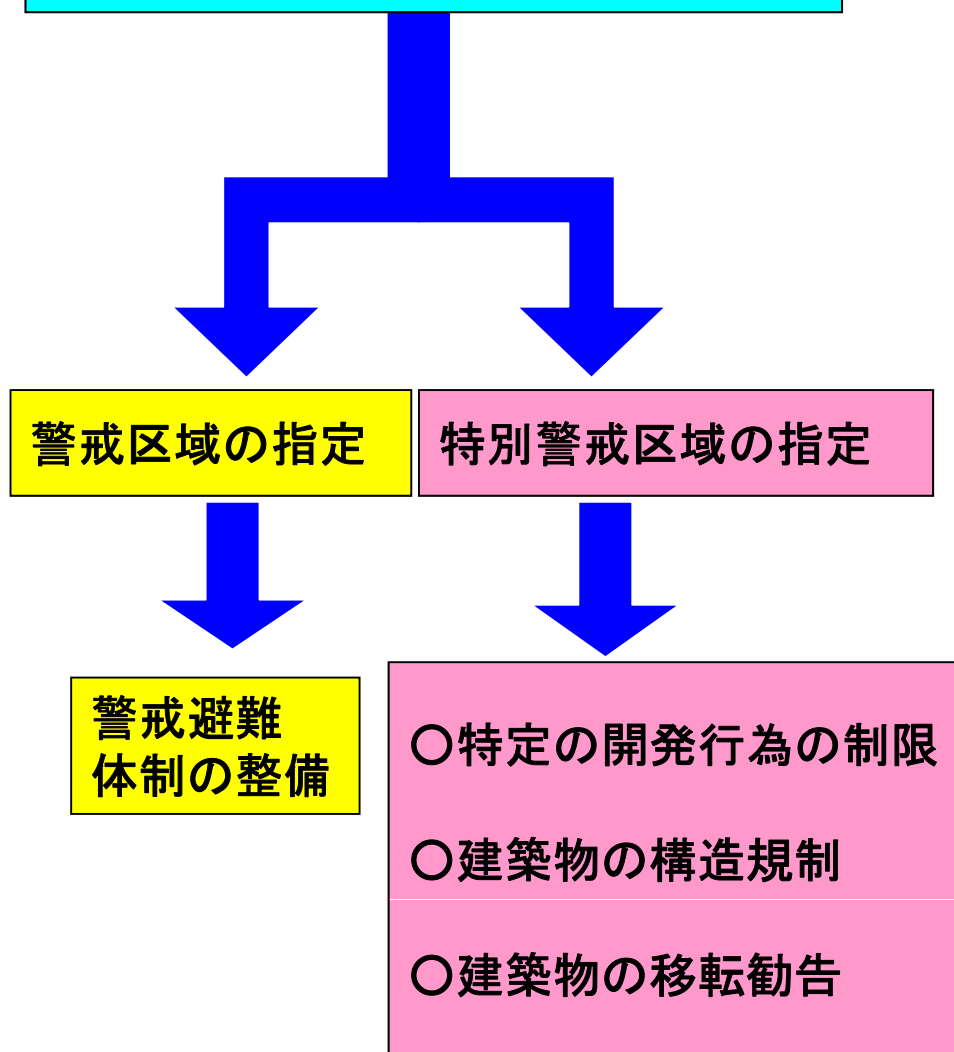
●急傾斜地崩壊危険箇所数と整備箇所数の推移

※急傾斜地崩壊危険箇所Ⅰ、Ⅱ、Ⅲのうち、Ⅰ:「人家5戸以上等の箇所」

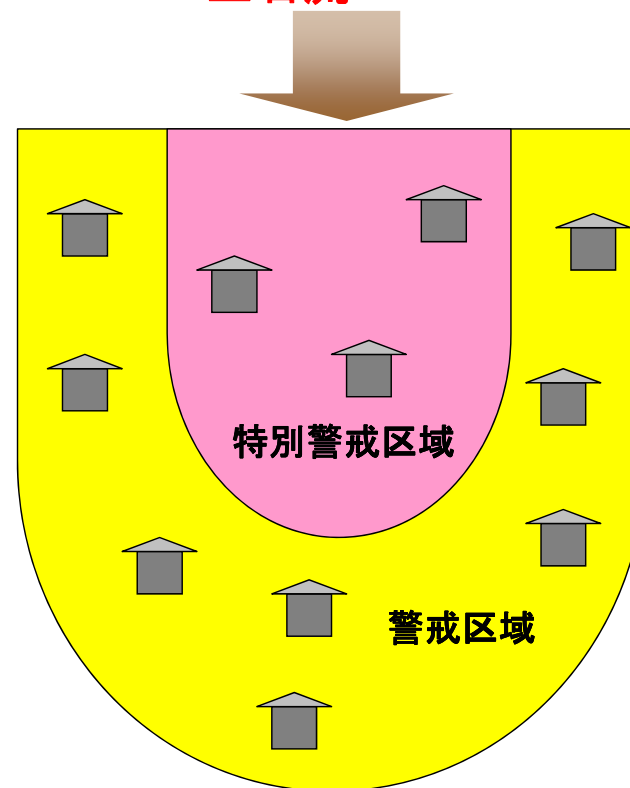
年々、土砂災害危険箇所が増加！

●土砂災害防止法の概要

専門的な調査(基礎調査)の実施



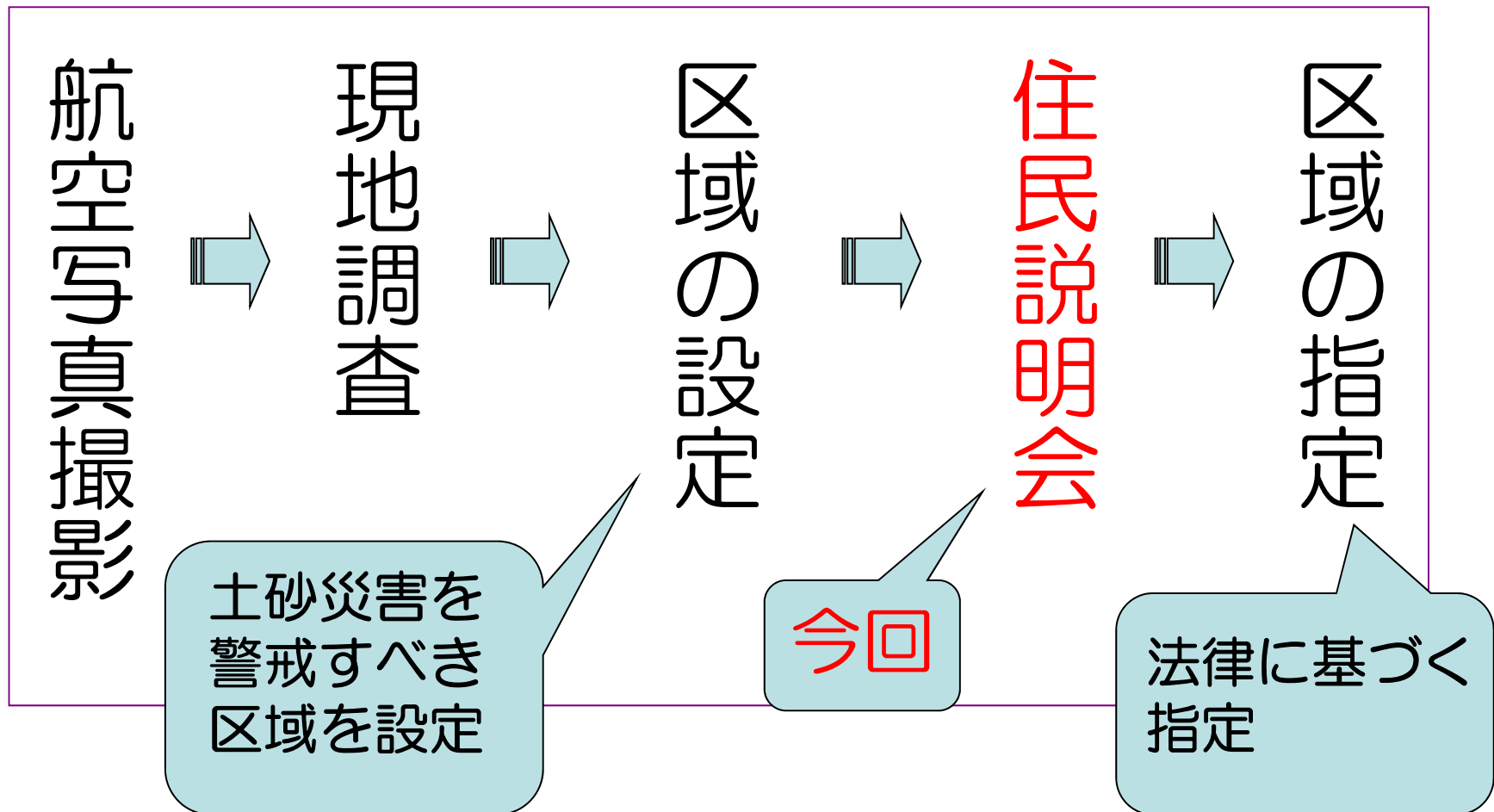
- ・急傾斜地の崩壊
- ・土石流



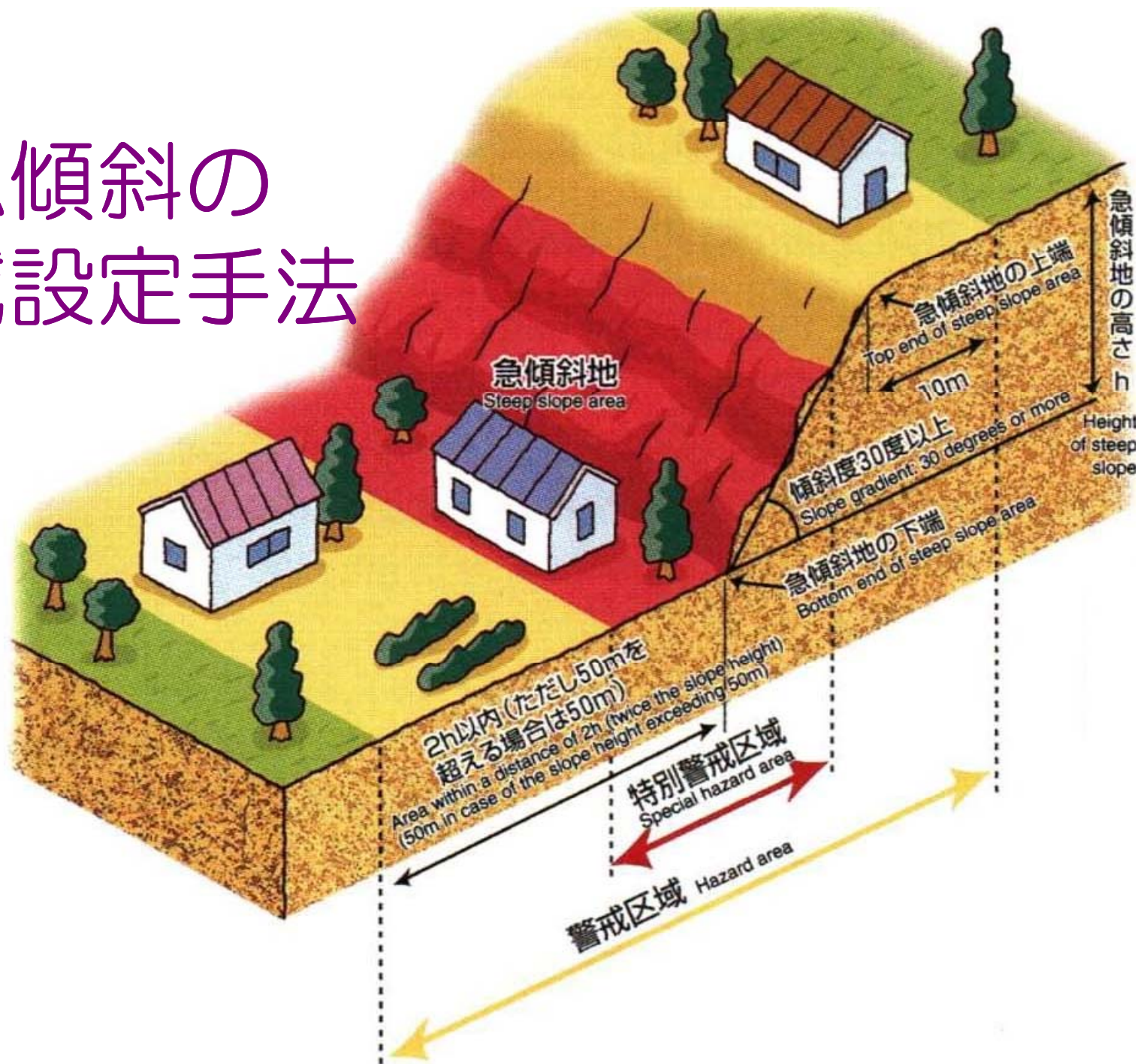
警戒区域と特別警戒区域のイメージ

3 土砂災害防止区域の設定手法

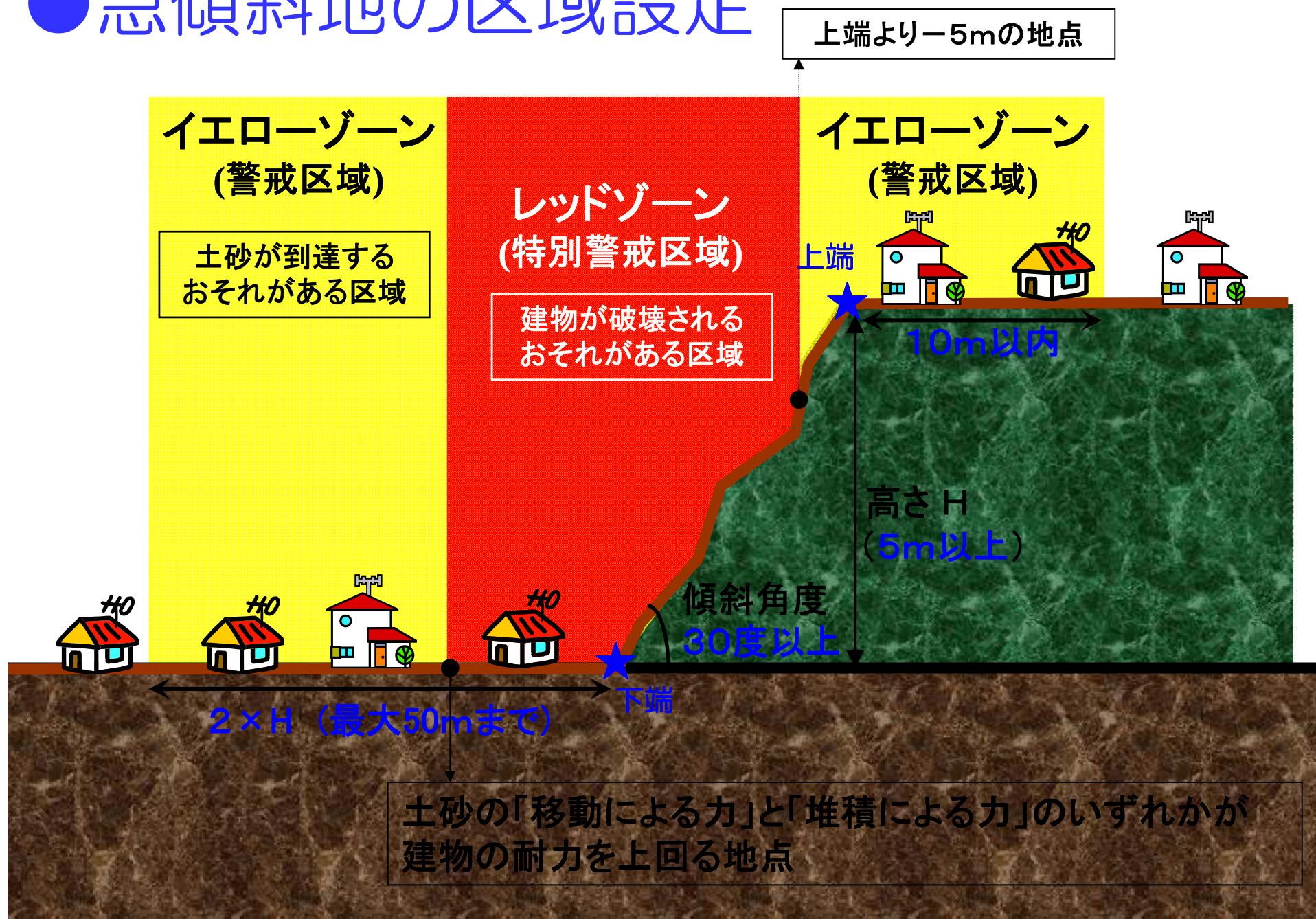
● 区域指定までの流れ



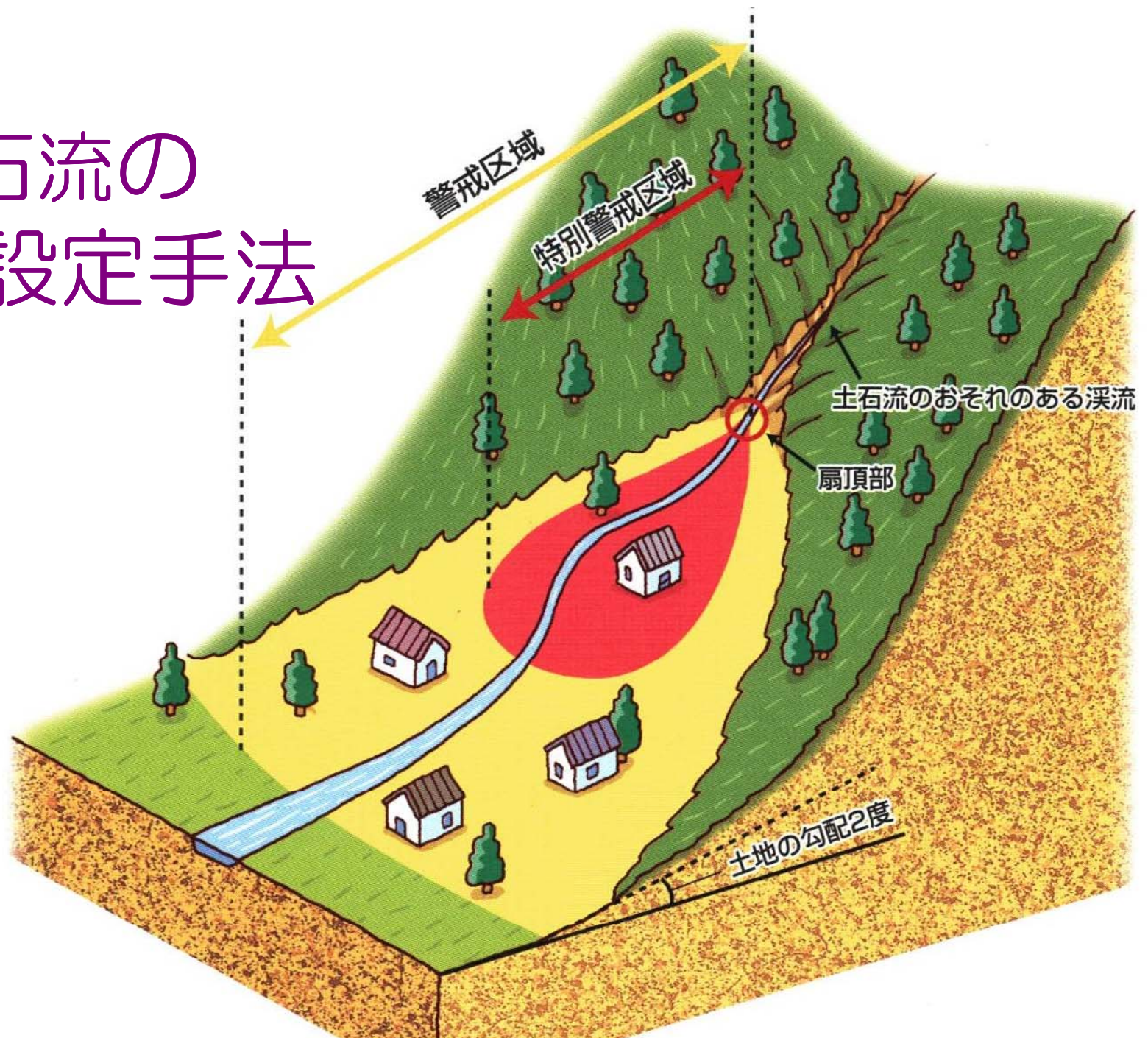
①急傾斜の 区域設定手法



●急傾斜地の区域設定

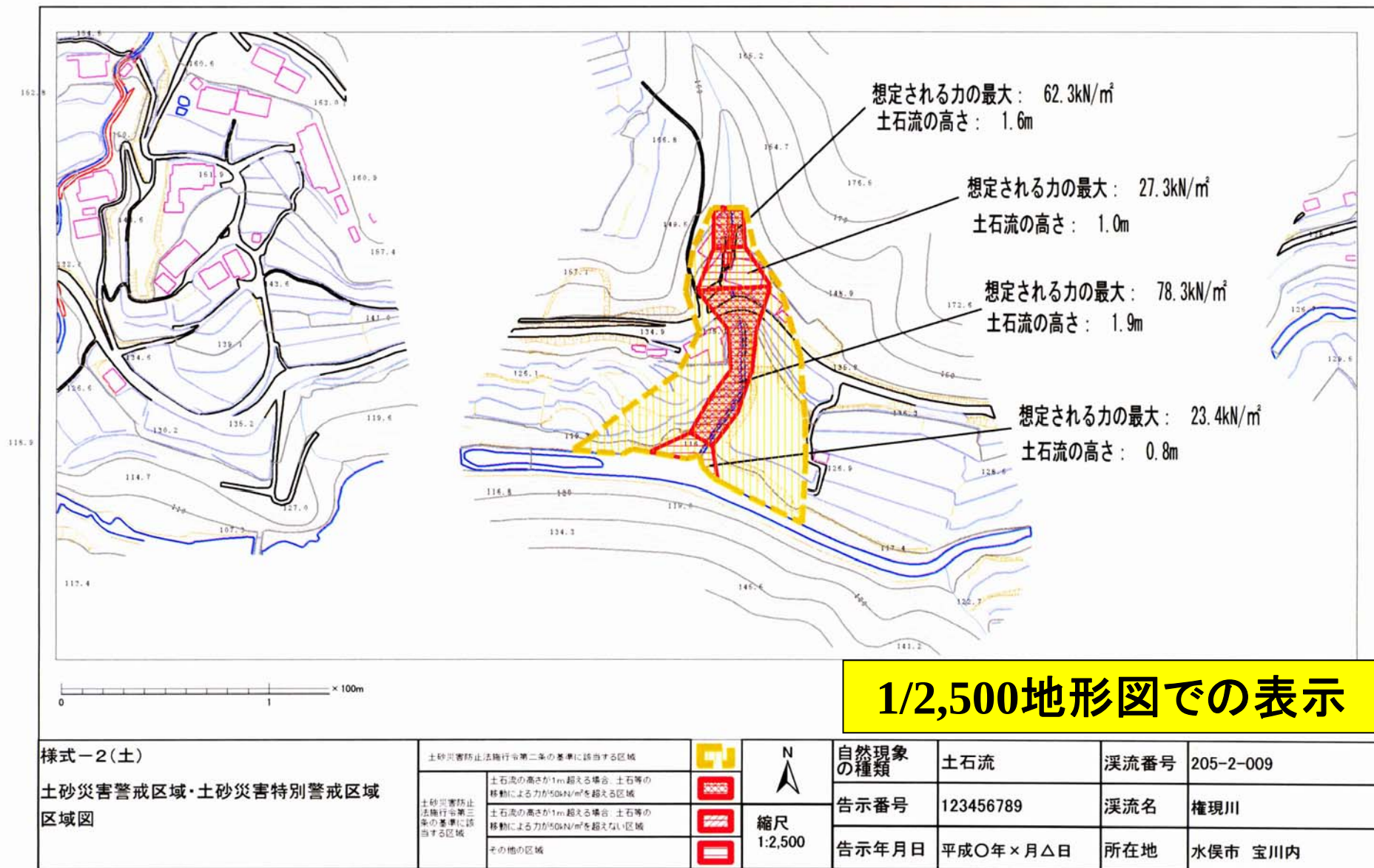


②土石流の 区域設定手法



公示図書の例

土砂災害警戒区域等の指定の公示に係る図書（その2）



公示図書の例

